

2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	海洋建築建設工法小委員会	主 査 名：野口憲一 就任年月：2007 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築委員会	委員長名：横内憲久 主 査 名：
設 置 期 間	2007 年 4 月～2010 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	2007 年度：種々の海洋建築物について、実際に海洋につくれるかをテーマに、海洋建築物の建設技術資料をとりまとめる。 2008 年度：実現された海洋建築物の建設技術に関して調査し、データベース化する。 2009 年度：海洋施工・建設技術・材料の選択・工場組立と実海域での組立等海洋建築物の建設技術について、調査および新しい建設技術を検討し、建設工法に関するデータの蓄積を行う。 2010 年度：同上	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：公募あり	
	主査：野口憲一(大成建設) 幹事：川上善嗣(職業能力開発総合大学校) 委員：西條修(日本大学) 後藤剛史(法政大学) 今井卓司(横河システム建築) 惠藤浩朗(日本大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし	
2009 年度予算	80,000 円	ホームページ公開の有無：HP あり 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kaiyo/s0/activity_2007/study/construction/construction.htm

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1. 海洋建築ミニシンポジウム「海洋建築物の利用と構造設計・施工技術」 参加者数 32 名
大会研究集会	1. 都市再生を促す海の活用術 研究協議会資料「都市再生を促す海の活用術」 参加者数 43 名
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	本年度の調査研究成果を海洋建築ミニシンポジウムにて報告した。また海洋建築建設プロセスのマトリクス化および建設工法のデータベース化についても小委員会で基本的な方向性を検討した。これらの結果より当初予定していた目標は達成しているものと思われる。
委員会活動の問題点・課題	1. 次年度以降の調査研究成果のデータベース化 2. 次年度のシンポジウム開催

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。